

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県 岐南町

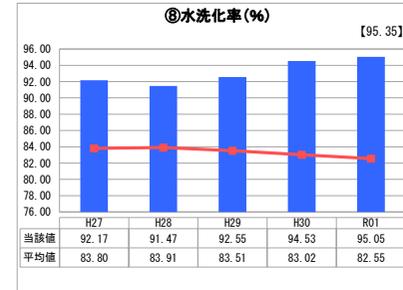
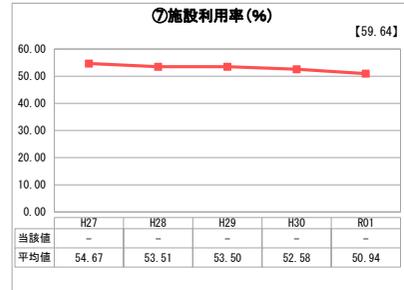
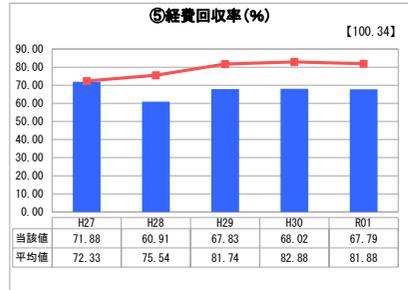
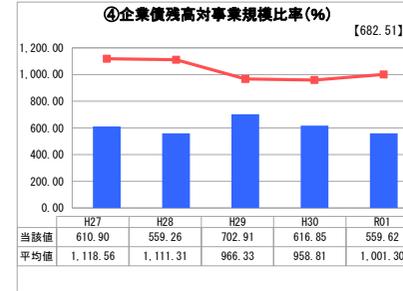
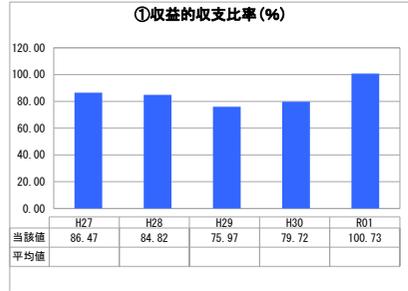
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	94.79	100.00	1,919

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,923	7.91	3,277.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,550	6.88	3,568.31

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は継続的に100%を下回る状況の中、R1年度は100%を超過し改善したのようには見えますが、これはR2年4月より地方公営企業会計を適用するにあたり、本来であれば出納整理期間中に支払うべき流域下水道維持管理負担金等の支払いが、打ち切り決算により未払いとなったことが要因であり、例外的なものであります。なお、経費回収率は、継続的に100%を下回っており、汚水処理経費が使用料収入以外の収入（一般会計からの繰入金）により賄われている状況が続いています。

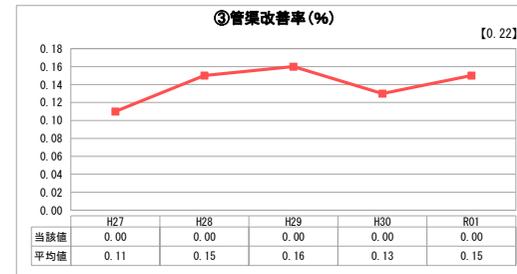
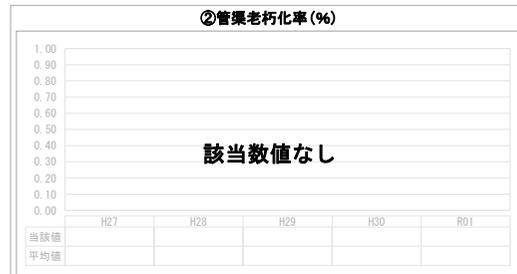
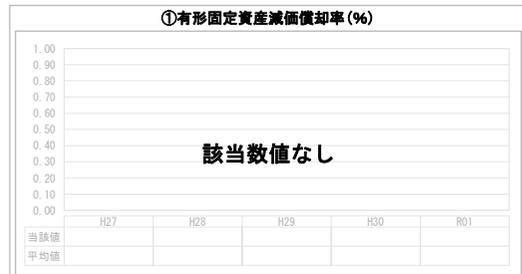
企業債残高の対事業規模比率は、類似団体の平均値より低く、企業債残高は償還が進み年々減少傾向にあります。また、水洗化比率は住宅等の新築に伴う下水道接続が引き続き増加傾向にあり、類似団体の平均値と比較して高い数値となっています。

2. 老朽化の状況について

当町は昭和58年度から下水道整備を開始し、平成3年度に供用開始をし現在に至っております。そのため管路は比較的新しく、更新するような資産はありませんが、不明水対策として管路調査を計画的に実施し、適宜補修対応しています。

また、町内に9箇所あるマンホールポンプ場については、耐用年数が短いため、既に更新時期を迎えた施設がありますが、多額の更新費用を一度に賄うことが困難であるため、定期保守点検や部分改修を併用しながら、順次更新を実施しております。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町の下水道事業は、使用料収入以外の収入として一般会計からの繰入金の一部受け入れ運営している状況であり、今後、安定した下水道サービスを持続させるためには、適切な料金収入を確保することが課題として挙げられます。そのため、R2年4月より地方公営企業法の全部適用を受けるべく、H30年度から移行準備を進めてまいりました。また、R2年度には老朽化資産の将来的な更新を見据えた中長期的な収支計画である経営戦略の策定も予定しており、これらによって経営状況を把握することで、経営の健全化・効率化を図っていく考えです。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。